

新型コロナウイルス感染症の影響により、大会の中止や活動が制限されている今、部活や大会の様子などに焦点を当て、春日井広報大使からのメッセージや児童・生徒たちの今の思いなどを伝えます。今回は、夏の風物詩ともなっている「甲子園」が中止となった高校野球を紹介します。

## 高校球児に向けてメッセージ

### 試合ができたことに感謝

大切なのは  
あきらめない  
心を持つこと!

### 春日井広報大使 鹿島さんから 高校球児に向けて

鹿島忠

春日井広報大使。鹿児島実業高校で夏の甲子園に二度出場。ドラフト1位で中日ドラゴンズに入団し、中継ぎのエースとして活躍。引退後は中日、楽天の投手コーチを歴任。現在は、野球解説者を務める傍ら、母校の高校で臨時コーチも務めている。

も良かったですし、3年生にとっては次のステップへのけじめになったと思います。

### 培った経験を糧に、 今後へ

3年生にとっては、今回の出来事はとても辛かったと思いますが、それを乗り越えてきたからこそ、コロナで先が分からない今、あきらめない心を持ち続け、後輩たちの手本となる姿を見せてほしいと思います。スポーツを通じて培ってきたことは今後の役に立つと思います。

### 少しでも前を向けるように

全国高等学校野球選手権大会の中止を受け、多くの選手や家族がショックを受けたと思います。高校3年生にとっては今までの成果を発揮する高校最後の大会です。何とかそのような場を作ってあげて、少しでも前を向いてほしいという願いを込めて、県独自の大会を行うことに決めました。

### 多くの人の支えがあった特別な大会

感染症予防の観点から、今大会は普段よりも少ない人数で運営を行いました。保護者の皆さんには選手たちの健康のサポートを、マネージャーには場内アナウンスを担当してもらうなど、多くの人の支えがあった開催できた大会だったと思います。

「コロナだから」と悲観するのではなく、「コロナだからこそ」と前向きに考え、いつか振り返ったときに、この経験が今後の糧となったと言えるよう願っています。

愛知県高等学校野球連盟 会長 須田文清(春日井高等学校校長)





# 高校生たちに、今年の夏を聞く!

## 春日井商業高校

チームスローガン 凡事徹底

高校3年間で挨拶や礼儀を学び、練習できついついときにも声を掛け合い、互いに鼓舞し合えることがチームの良さだと思えます。「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのだとすれば、それはまだ努力とは呼べない」という言葉をモットーに大学でも頑張りたいです。

応援が力に。  
最後まで笑顔で

春日井商業高校  
キャプテン  
林龍之介



## 高蔵寺高校

チームスローガン 守備からリズムを作り、攻撃に繋げる

甲子園が中止と決まったときは、目標がなくなりチームがバラバラになるかとも思いましたが、みんなに電話を掛けると、「最後までしっかりやり切りたい」と言う声が多く、結果、みんなで最後まで全力で戦い切ることができて良かったです。

やるなら全力で

高蔵寺高校  
キャプテン  
亀山立稀



次回は、春日井工業高校、春日井高校、春日井西高校を掲載予定